

沖縄の農林漁業者と中小企業のチャレンジ

沖縄在来のアカバナで  
沖縄を感じる新飲料を開発！

# ハイビスカス花茶

法認定業者（中小企業）

（株）沖縄バヤリース（清涼飲料水製造）

法認定業者（農林漁業者）

農業組合法人沖縄長寿薬草生産組合（ハイビスカス生産）

## 事業概要

沖縄を代表する花、ハイビスカス（沖縄名アカバナ）は、沖縄に訪れた人ならば必ず目にする花だ。しかしこの花の研究は意外と進んでいない。身近にあって遠い花ハイビスカス。

沖縄バヤリースでは、農事組合法人沖縄長寿薬草生産組合と共にハイ



株式会社 沖縄バヤリース  
代表取締役社長 上間長恒さん

ビスカスを科学的に検証し、市場に浸透する商品を開発している。

## 生産者インタビュー

今回の連携の詳細を  
お聞かせ下さい。

当社は沖縄で唯一の県内資本の清涼飲料メーカーでバヤリースオレンジを中心に製造販売してきましたが、本土復帰以降各種メーカーが競合製品を県内市場に投入しシェアは減少しました。そこで、対応策として地元特産の農産物を使った果汁飲料や茶飲料の開発へ取り組みようになり新商品開発を模索するなかで、沖縄の自然のシンボル、ハイビスカスを原料とした商品の開発に辿り着きました。その中で農事組合法人沖縄長寿薬草生産組合では40年にわたりハイビスカスの研究を続けられているということをお聞きしていたので、今回の農工商連携にあたっては「一も二もなくお願いしよう」と思いました。

どのような商品を開発したのですか？

ハイビスカス花茶です。本格的には昨年9月より販売しております。ハイビスカスの花びらを丁寧に摘み取り乾燥させて煎じエキスを抽出しました。無着色ながら綺麗な色合いとほんのり甘いのにゼロカロリーのお茶です。

ハイビスカスに  
こだわっていますね。

ハイビスカスは食材としての活用はほとんど未開発の分野なので魅力でした。

いまでこそ庭の垣根や公園、あらゆる所で鑑賞用に植えられています。昔は洗髪に使ったり、解熱剤として活用したりして、ハイビスカスは沖縄の生活に密着した植物だったのです。中国では漢方薬として研究された事実があり、今も大学等で抗癌作用の実証や抗酸化作用等での研究が行なわれています。



ハイビスカス花茶

今回の連携にてハイビスカスの有効成分データの蓄積と科学的検証も目的のひとつになっています。

飲料以外の開発も  
進んでいるのですか？

同じ飲料ですが、美容飲料を開発しています。現在研究中のハイビスカスもつ抗酸化作用、肥満防止作用など素材がもつ美容効果を訴求した商品です。

健康志向が強い女性をメインターゲットに展開します。そして、業務用の濃縮エキス・パウダーを開発しています。これは県内外の食品企業等を対象にハイビスカスを素材とした様々な商品化を促進する素材になります。

主に菓子メーカーや専門料理店などの観光産業の最前線で活躍することを希望しています。



株式会社 沖縄バヤリース

〒901-1207 沖縄県南城市大里字古堅1208  
TEL 098-945-3381 FAX 098-945-0005  
www.okinawa-bireleys.co.jp/

食品としての利用は始まったばかりだが今後、食材としても沖縄を代表する顔になる日も近いだろう。

沖縄を代表する花木ハイビスカスは観光産業に欠かせないシンボルでありモチーフとして漆器、ガラス、染め物などのデザインに多く活用されている。